

問題 1

本問題は、生成 AI 技術の急速な普及というデジタルメディアを取り巻く環境の変化に対して、従来のメディア・情報リテラシー（MIL）の概念をどのように発展・適応させるべきかについて、受験生の批判的思考力と応用力を評価する問題となっています。特に、MIL の育成方法に関して、誰が何のためにどのように育成するかを自身の問題意識に基づき具体的に構想し、論理的に論述できるかを問うています。

問題 2

本問題は、Learning Analytics（LA）や Educational Data Mining（EDM）の研究領域において注目されているデータ駆動型フィードバックについて、受験生が自らの価値観や問題意識に基づいてどのような見解を持っているかを問う問題となっています。Pardo et al.

（2017）の研究知見を出発点として、受験生が自身の学習体験や教育への関心を踏まえながら、学習者・教育者・教育システムの各観点からこのアプローチの意義と課題について独自の視点で考察し、論理的かつ具体的に論述できるかを評価しています。

問題 3

本問題は、デジタル化が進み SNS がコミュニケーションの主流の手段となっている現代のメディア社会におけるジャーナリズムの意義について受験生の考えを問う問題となっています。これまでのジャーナリズムのあり方を批判的に捉え、現代のメディア社会で必要とされるケアの倫理を始めとしたオルタナティブな概念や価値観を導入しながら、時代に即したジャーナリズムのあり方について、論理的な思考に基づいた議論展開ができるかどうかを試しています。

問題 4

本問題は、これまでメディア研究において中心的に扱われてこなかった人間の感情あるいは情動という要素をメディア研究に取り入れることの意義について問うています。引用した Karin Wahl-Jorgensen は、感情を私たちの生活において中心的な役割を果たしていると主張

していますが、このことの是非とともにメディアとの関連でこの問題を扱うことの意義と課題について、論理的な思考に基づいた議論展開ができるかどうかを試しています。